

4・21(木)
16:30~

大阪損保革新懇 講演会 国と大企業は雇用責任をはたせ！ 働く誇り、人間の尊厳

講演①：日本航空の不当解雇をゆるさない

清田 均 氏 パイロット・指導教官

(日本航空不当解雇撤回裁判原告団事務局長)



日本航空は昨年12月末165名の解雇を強行しました。解雇の対象は、機長55歳、副操縦士48歳、客室乗務員53歳以上でした。さらに病気やけがで休職した人も含まれました。このうちパイロット74名、客室乗務員72名の計146名が東京地裁に解雇無効を訴えたばかりに立ちあがっています。

再建計画による1500人の希望退職目標に対して1733人がすでに応募していました。稲盛和夫日本航空会長自身「会社業績は日を追うごとによくなっている。160人を残すことが経営上不可能かといえば、そうではない」と発言しています。もともと

解雇の必要性などなかったのです。稲盛会長はまた、「就任直後は『航空会社は安全と定時運航、サービスが第一。利益は二の次』という人すらい」と「安全第一」の考え方を否定する発言までしています。

清田さんは、機長であると同時に、昨年8月末までパイロットの指導教官をつとめていました。「安全文化の断絶が心配」と、空の安全を守るために欠かせないベテランパイロットが日航からまったくいなくなることに危機感を持ちます。

「ごく最近までは、定年後もひきとめられるほど、指導層が求められていた。しかしいま55歳以上のパイロットはゼロだ。しかも、貴重な経験を伝えられる最後の砦が、解雇で一掃されてしまう。

原告団の訴えには、解雇撤回のみならず、公共交通機関としての安全性と公共性を確保した日航の再生も含まれているのです。

航空界だけでなく日本全国から熱い支援の声が寄せられています。加えて、国際運輸労連や国際パイロット協会からも支援が寄せられています。

東日本大震災…産業の使命を発揮するのは働く者

講演②：損保経営者は雇用責任をはたせ

松浦 章 氏 (大阪損保革新懇世話人、兵庫県立大学大学院)



松浦さんが2006年に大学院の門をたたいたのは、大学卒業後32年間勤めた損害保険会社のなかで起こっていること、様々感じたことを論証し現場に返したいというのが主な理由でした。一言でいえば規制緩和の流れの中で、雇用が劣化し、それが産業の劣化につながっているのではないかという問題意識です。直接的なきっかけは、2005年に発覚した保険金不払い問題でした。自由化後の10年間で従業員数は、103,288人から79,826人と23.5%の減となっていました。

またちょうど同じ時期、2005年4月25日にJR西日本の悲惨な脱線事故が起こりました。事故後、JR西日本の経営方針の第一の課題が「安全」をさしおいて「もうけること」であったこと、1987年の民営化時に51,530人だった人員が32,850人にまで36%も減っていたことが明らかになりました。損保の保険金不払いもJR西日本の事故も、「利潤第一主義」と「雇用の劣化」にその主な原因があったのです。

「社会的役割」の発揮のために 求められる「雇用責任」

しかし今また、JRと同じ公共交通機関の日本航空で「安全」無視の指名解雇が、そして損保各社で「社会的役割」を軽視したリストラ・合理化が実施されようとしています。

損保でいえば、ゆるぎない「補償機能」を保証する、高い「付加価値」の創造こそが、「安心」を提供する損保産業に求められる使命です。損保の「社会的役割」とは、リスクを専門的・社会的に集約し原状回復を可能にする機能・「補償機能」にあります。

未曾有の出来事の中で奮闘する仲間たち

現に今、多くの仲間が東日本大震災の現場でその役割を担っています。しかしリストラは、この損保固有の機能を損なうものです。損保だけが担うこの唯一の機能を本当に大切にしなければなりません。働くものの視点から産業と職場を再生する道を、ともに考えましょう。

大阪損保革新懇

大阪府中央区道修町3-3-10 大阪屋道修町ビル3階 電話：06-6232-1095

e-mail: ossnpksk@gmail.com HomePage: <http://www.uranus.dti.ne.jp/~ossnpksk/>

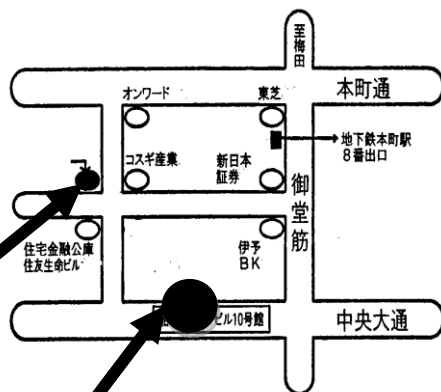
4・21(木)
16:30~

大阪損保革新懇 講演会

国と大企業は雇用責任をはたせ！

働く誇り、人間の尊厳

日本社会の現状が切実に求める「企業の社会的責任」とは、まさに「雇用責任」です。しかし日本航空は、経営破綻を理由に強引な人員削減を行い、それを超過達成してもさらにパイロットと客室乗務員の「整理解雇」を強行しました。損保では複数の会社で、希望退職が募られ、店舗の統廃合などのリストラが実施されようとしています。今東日本大震災で、多くの仲間が損保に求められる社会的役割をはたそうと必死です。リストラは、その思いに逆行するものではないでしょうか。



終了後、懇親交流会を開催します。
和 dining 木温 (こはる)
参加費：男性 3500 円、女性 3000 円

大阪府商工会館
7階 第一講堂
地下鉄「本町」17番出口直結

参加協力費 1000円

大阪損保革新懇

大阪府中央区道修町3-3-10 大阪屋道修町ビル3階 電話：06-6232-1095

e-mail: ossnpksk@gmail.com HomePage: <http://www.uranus.dti.ne.jp/~ossnpksk/>